

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市左京老人デイサービスセンター

1 施設の管理運営

- ・介護保険法に基づく通所介護事業の実施
- ・京都市総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の実施

2 事業実施内容

- ・事業実施に伴うサービス提供（食事、入浴、機能訓練、認知症予防プログラム、レクリエーション、送迎、相談業務などの提供）
- ・ケアプラン、通所介護計画書に基づく利用者の自立支援を目標としたサービスの提供
- ・個別機能訓練計画に基づく心身の機能維持・向上を目的とした個別機能訓練の実施
- ・多種多様なレクリエーション、趣味活動等を全体、もしくは小集団で実践し、心身機能の向上や生活の活性化を目的とした支援プログラム（個別機能訓練）の提供
- ・個々の利用者に対する相談援助と関係機関との連携
- ・サービス向上の取組とするユーザーアンケートの実施や情報公表、第三者評価の受診
- ・職員に対する法人研修や外部研修の積極的な参加
- ・認知症高齢者の積極的な受け入れ
- ・区社協働の認知症の方とその家族の集い「おれんじサロンさきょう」の運営協力
- ・地域の事業者からなる、認知症サポートネットワークへの参画とイベントへの参加
- ・地域のボランティアの受け入れ、ボランティア団体による研修への講師派遣
- ・左京区事業者連絡会の例会と部会への参加と連携、及び連絡会主催の研修の参加
- ・地域ケア会議等への参加と地域包括支援センターや医療機関、サービス機関との連携
- ・中、高生の生き方探究チャレンジ体験やボランティア実習の受け入れと大学生の介護等体験実習の受け入れ、児童館等との世代間交流
- ・チャレンジ就労体験者の受け入れと支援学校の実習や就労支援授業の実習者の受け入れ

(2) 指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

3 サービス提供状況

- 【職員体制】
- ・管理者 1名
 - ・生活相談員 1名
 - ・介護職員 12名
 - ・看護職員 7名（機能訓練指導員兼務）
 - ・調理員 5名
 - ・運転手 3名
 - ・介護支援専門員 4名

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）

4 市内中小企業への発注に対する考え方

本会においては、本会経理規程により、100万円以上に関しては、一般競争入札に付することとし、100万円未満の委託業務に関しては、随意契約としています。一般競争入札の場合は、市内中小企業も含めて広く公募し、随意契約では、市内中小企業にも配慮し、見積り合わせ行っています。

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)延べ利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(2)実利用者数（実績値）

①令和5年度実績値 人

②令和6年度目標値 人

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	85,289,060
利用料収入	5,524,383
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	46,916,117
収入計	137,729,560

令和5年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	95,118,918
事業費	13,540,719
委託費	
小額修繕費	
その他	29,064,622
支出計	137,724,259

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和6年1月にユーザーアンケート（利用者と家族のご意見が反映できるサービス全般に関するアンケート）を実施。アンケートを回収して集計。所内会議にて職員間で共有。ご本人、ご家族にアンケート結果と質問への回答などを書面にて配布。

(2) 利用者満足度把握の結果

配布数77件、回収数43件（回収率55.8%）

主な項目

利用時間	: 満足 84%	やや満足 16%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 0%
送迎	: 満足 93%	やや満足 5%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 2%
入浴	: 満足 70%	やや満足 14%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 16%
食事	: 満足 86%	やや満足 5%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 9%
レクリエーション	: 満足 63%	やや満足 26%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 11%
個別機能訓練	: 満足 58%	やや満足 23%	やや不満 2%	不満 0%	無記入 16%
プライバシーの保護	: 満足 81%	やや満足 12%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 7%
職員の対応	: 満足 89%	やや満足 9%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 2%
設備について	: 満足 75%	やや満足 16%	やや不満 0%	不満 0%	無記入 9%

(3) 意見等への主な対応状況

アンケート結果は頂いたご意見に関する回答や改善点などの説明を添付して利用者全員に配布しました。職員間でも共有し、食事、入浴、送迎、レクリエーション等、要望に応じた改善策を検討しています。ケース検討・業務改善会議での法令研修とも関連づけ、接遇、プライバシー保護等、サービスの質の向上に向けた意識づけも行っています。

7 その他特記事項

(1)

引き続き感染対策を徹底し、安心・安全な施設運営を継続している。施設的环境整備の他、衛生推進者、衛生推進担当者を設置し、健全でより働きやすい職場づくりをすすめていきます。

(2)

8 評価（指定管理者自己評価）

コロナ5類移行後、関係機関との連携を図り、昨年度よりも多くの方にご利用いただくことができました。コロナ禍で滞り気味であった居宅、包括との関係も活発になり、今もその流れは続いています。

機能訓練やレクリエーション等、利用者の要望に応えつつ、意欲向上や心身の活性につながるようなプログラムの考案、実施に努めました。

サービス向上委員会、事故再発防止委員会を定期的開催し、職員全体でサービス向上への考察、取り組みを検討する場を設けました。また、アンケート結果や苦情等、利用者・家族からの意見を振り返り、対応や改善策等サービスの質の向上につながる方策について協議を図り、抽象的な文言ではなく、具体的な改善策を模索していく姿勢を共有し、事業所の風土として定着するよう努めました。

定期的に所内での研修を行いました。サービスのマンネリ化や思考の停滞、現状維持といった滞りに囚われないよう、常に風通しのよい職場環境を念頭に取り組みました。

要支援や要介護、重症度や介護量等に囚われることなく、利用者ニーズと自事業所のサービスや機能との整合性を純粋に見極め、分け隔てることなく受け入れるよう努めました。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援していくことを使命と認識し、安心・安全をモットーにサービス提供に努めました。今後も質の高いサービスが提供できるよう、人材育成、質の向上の取組、障がい理由とする差別の解消に向けた職員研修にも取り組んでいきます。

地域の関係機関との連携や地域事業への参加、地域との交流を通じ地域の福祉拠点を目指していきたいと考えています。